

言語環境の取り組み

言語能力を育成するためには、多様な場面や状況における学習の積み重ねや、継続的な読書活動などが必要であり、児童を取り巻く言語環境を整備することが重要です。

本校では、児童の言語活動の充実を図るため、校内における言語環境を望ましい状態に整えています。

「大宝言葉の森」の設置

各学年の国語科を中心とした学習のまとめや感想など友達の作品を掲示しています。また、ICT機器を活用し、言葉遊びや詩の朗読の映像を流すことも行っています。



「ことばの掲示板」の設置

早口言葉や漢字クイズ、季節に合った詩などを校舎内各階に設置した「ことばの掲示板」で知らせ、日頃から児童が学校生活の中でことばに親しむようにしています。



図書館の利用の工夫

本に関心をもち、読書を習慣化するために、休み時間に高学年の児童が絵本の読み聞かせ会を開いたり、図書委員が読書カードを発行したりして、本に親しむことができますようにしています。

